

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和3年度第12回政策会議
開催日	2021年(令和3年)12月23日(木) 8:30~9:00
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長, 和田副市長, 宮治副市長, 岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉部長, 健康医療部長, 保健所長(欠席), 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長(テレビ会議参加), 消防局長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和3年度2月補正予算編成について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 令和4年度施政方針の調整日程等について(企画政策部) イ 令和5年度国の施策及び予算に関する提言について(企画政策部) ウ 審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針(企画政策部) エ 「パートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定」の締結について(企画政策部) オ 令和4年度当初予算の示達について(財務部) カ 令和3年度藤沢市震災対応連携訓練の実施について(防災安全部) キ 令和4年藤沢市消防出初式について(消防局)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 DX戦略推進プロデューサーの紹介 4 議事 (1) 議題(審議事項) 1 令和3年度2月補正予算編成について (説明者:財務部長) □財務部長から, 資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 令和3年度2月補正予算を編成するに当たり, 補正予算編成方針等について報告するもの。 《主な意見等》

<p>内 容</p>	<p>○今、2月補正予算編成の説明があったわけだが、2月補正と並行して当初予算編成も大詰めとなっている。昨年9月の段階で73億円の財源不足というところから当初予算編成が始まっている。各部局の協力によって、現時点ではかなり縮まってきているが、いまだに収支が一致しておらず、財源不足が埋まっている状態にはない。この2月補正予算編成をしっかりとやることによって当初予算も組むことができるという関係性がある。ここ数年、2か年1セットで予算を組んでいるという状況を是非ご理解いただきたい。2月補正をしっかりとやることで財源を生み出し、それを翌年度の財源に充てることで当初予算が何とか組むことができている。そのため、1点目としては、まずはこの2月補正予算については、今年度の執行状況をしっかりと見てもらい、減額するところはしていただきたいということ。そして、2点目は、今回は国の補正予算を受けたものもあるので、各部局で情報収集を行い、迅速に対応していただきたい。場合によっては、補正予算編成を待たずに専決処分ということも視野に入れているので、スピード感をもって対応していただきたい。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 令和4年度施政方針の調整日程等について □企画政策部長からの概要説明については省略。 《内容》 令和4年度施政方針策定に当たり、調整日程を情報提供するとともに、今後予定している照会等への対応について協力を依頼するもの。 《主な意見等》 なし。</p> <p>イ 令和5年度国の施策及び予算に関する提言について □企画政策部長からの概要説明については省略。 《内容》 2021年11月17日(水)に神奈川県市長会に提出した、「令和5年度国の施策及び予算に関する提言」に係る本市の要望事項について報告するもの。 《主な意見等》 なし。</p> <p>ウ 審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>□企画政策部長からの概要説明については省略。</p> <p>≪内容≫</p> <p>政策・方針決定過程への女性参画の拡大に向けた取組として、「藤沢市審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針」を決定したため、各課への周知徹底を依頼するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>なし。</p> <p>エ 「パートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定」の締結について</p> <p>□企画政策部長からの概要説明については省略。</p> <p>≪内容≫</p> <p>藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町のいずれかでパートナーシップ宣誓制度を利用している方が、2市1町の間で住所を異動する際に生じる負担の軽減を図るため、同制度に係る自治体間連携に関する協定を締結したことから、情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>なし。</p> <p>オ 令和4年度当初予算の示達について</p> <p>□財務部長からの概要説明については省略。</p> <p>≪内容≫</p> <p>令和4年度当初予算の示達を行うとともに、今後の予算編成スケジュールについて情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>なし。</p> <p>カ 令和3年度藤沢市震災対応連携訓練の実施について</p> <p>□防災安全部長からの概要説明については省略。</p> <p>≪内容≫</p> <p>令和4年1月15日(土)に実施する訓練について、情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>なし。</p> <p>キ 令和4年藤沢市消防出初式について</p> <p>□消防局長からの概要説明については省略。</p> <p>≪内容≫</p> <p>令和4年藤沢市消防出初式について、新型コロナウイルス感染症</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>拡大防止の観点から、規模を縮小し、消防職団員及び藤沢市関係者のみで実施することとしたため、情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>5 その他</p> <p>○1点目として、資料「第6波に向けた執行体制の改編について」をご覧ください。こちらは、新型コロナウイルス感染症への執行体制について健康医療部内で見直しをするものである。当初は4月1日に向けて総務部と全体的な人事異動を含めて相談していたが、第6波、オミクロン株などの状況もあるので、理事者とも相談しながら、早急に体制を整えることとなった。そこで、1月1日付けで人事異動を行う。現在、保健所3階に新型コロナウイルス感染症への主だった直接対応する部署を設けており、具体的には、地域保健課コロナ対策業務担当と保健予防課コロナ対策療養担当の2つの課の組織を置いて対応してきた。ここに各部局にもご協力いただいた96名の応援職員が配属され、それぞれ対応いただく流れとなっていた。今までの応援の経過でも、命令系統が少し統一されていない部分があるということや、応援職員がそれぞれの課題について誰に相談するべきか、場合によっては迷ってしまう状況があるという意見をいただいていた。そうした意見を受けて、今までの地域保健課と保健予防課にまたがっていた組織を保健予防課の方へ1つにまとめ、行政組織規則の中で、新型コロナウイルス感染症対策担当を設置する。1月1日からこういった体制を設ける。本来であれば、新型コロナウイルス感染症対策本部会議でお話することかもしれないが、人事的な配置等もあり、時間的な余裕もないので政策会議の場でご報告させていただく。</p> <p>2点目として、本市のホームページをご覧ください。新型コロナウイルス感染症に関する情報についてはページのトップで表示をしているが、今回はこちらの紹介ではなく、下の方のトピックス欄についてお話をさせていただきたい。トピックスの左手のところに「いろいろな悩みや問題をひとりで抱えていませんか？」ということで、今回新たに「こころの健康」に関する相談窓口の紹介をしている。最近も有名人の自殺や大阪市のクリニック放火事件といった一定精神に起因するような事件等が報道されているが、気持ちが落ち込んでいる方など、様々居られる。そういった方に今までも情報としてはあったが、改めて市民向けに周知したということをご承知おきいただきたい。また、市民に限らず、職員でもこういったことはあると思うので、こうしたページがあることを周知していただけ</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>ればと思う。</p> <p>○2点ある。1点目として、明日24日に1月1日付けの人事発令を予定している。本日はその前日になるので、その内容について少し前もって説明させていただく。今回の異動は、いつも年度途中にある小さな異動とは若干異なる。今回の異動では、まず1点目として市民窓口センターの窓口業務等協働事業が1月から開始されることに伴う職員の減員がある。2点目は東京オリンピック・パラリンピックの事業縮小に伴う異動である。10月に1回目を行っているが、2回目となる。3点目は選挙管理委員会での衆議院総選挙の終了に伴う異動である。これらの執行体制の減員に伴う異動と、その人員を用いて1つ目は保健所地域保健課ワクチン接種担当の体制強化として4名増員を図る。これは3回目接種の業務を想定して、そのことに伴う業務増として体制強化をする。それから2つ目として、子育て・生活支援給付金担当の体制強化として2名増員を図る。3つ目は保健所の新型コロナウイルス感染症への執行体制を構築するために各部局から協力いただいていた欠員分の一部補充を行うという内容となっており、異動規模としては30名程度の異動となる。そのため、いつもの年度途中に生じる異動の規模より比較的大きくなっているのご承知おきいただきたい。今回の異動に当たっては、各部局長のご理解をいただいた中で進めさせていただいているものなので、よろしく願います。</p> <p>2点目は、情報共有として、給付金の進捗状況について少しお伝えする。子育て世帯への臨時特別給付金については、報道等で国の二転三転の動きがあったことはご存じかと思うが、本市としては、まず1回目の5万円の支給については本日23日に振り込みがされる。残り5万円の2回目の支給は今月28日に振り込みがされる予定で、そのための手続きは終了している。昨日は2回目の振り込みの通知を対象者へ発送する必要があるため、その作業を子ども青少年部、福祉部、総務部から総勢33名の職員に集まっていただき、通知の宛名作業を行った。昨日夕方にはがきを発送することができた。今後は高校生の16歳から18歳までの3歳区分と公務員の申請をしていただく部分の手続きの準備となる。申請書の発送は年明けの1月の早い時期に申請書を出せるよう準備を進めている。もう一つの住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金については、国の補正予算が20日に成立し、一昨日の夜ようやく要綱(案)が示されたので、それを読み込んでいる状況である。こちらの対象者への申請書の送付は1月下旬頃になるかと思われる。</p> <p>○冒頭、市長から新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年という話があったが、去年同様、今年もそういう印象である。先程の組織</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>改正や国の補正予算の話もあったが、積極的な活用ということで、それぞれ繋がってくる。この1年間、新型コロナウイルス感染症への対策を含め、各部局のご協力に感謝する。来年は先程申し上げたような施策を展開していかなければならないが、直近では健康医療部長からも話があったように、オミクロン株の市中感染について昨日から報道されている。非常に早い段階で感染爆発が予測されるため、あっという間に感染者が激増する可能性を秘めている。この年末年始を含めて体制を備えておく必要があると考えている。組織の話でもそうだが、国もワクチンを含めて動きが二転三転していると感じた。今後3回目のワクチン接種の体制であっても、高齢者の部分を前倒しするという話も出ているが、もしかしたら全体的に急に前倒しするということも考えられる。そういった際には、執行体制の見直しをしなければならないこともあり得る。機動的に動ける体制を常に頭に入れておかなければならない。そういうことで、この先急激に事態が動きだすことが様々あるかと思われるので、各部局においてもそういった体制を取っていただけるようお願いしたい。</p> <p>6 閉会</p>
------------	---